

Starzen Report

スターゼンレポート

2015/3
期末

2014年4月1日
≡
2015年3月31日

メッセージー株主の皆様へー P.1

国内外の食肉需要に対応した「攻めの経営」で
シェア拡大を推進します。

トピックス P.3

インフォメーション P.5

- 株主優待のご案内／当社ホームページのご案内／株主メモ
- 会社概要／株式の状況

株式併合についてのご案内 裏表紙

株主の 皆様へ

国内外の食肉需要に対応した「攻めの経営」で シェア拡大を推進します。

■ 当期(2015年3月期)の事業環境について

株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当期の食肉業界は、和牛の出荷頭数の減少や豚流行性下痢症候群(PED)の流行などから国産食肉相場は高値で推移し、輸入食肉もアジア諸国の需要増大や円安の影響から相場が上昇しました。

当社グループは食肉相場の上昇が続くなか安定した供給体制をベースに、国内においては生産加工拠点の増強、販売・物流機能の強化、商品群の拡充など営業基盤の強化策に取り組みました。

海外事業では、業界に先駆け2014年6月からEU市場へ向けた和牛輸出を開始するとともに、需要が増大する東南アジ

ア市場では現地法人との連携により食肉輸出事業を強化し、国内・海外とも“攻め”の経営を展開いたしました。

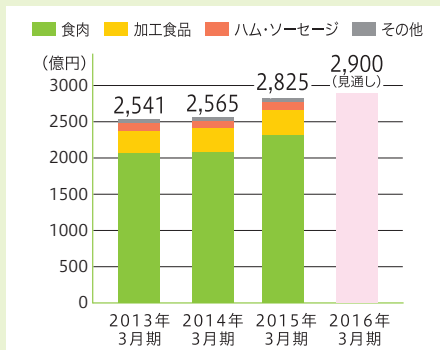
■ 業績について

当期の連結業績は、主力の食肉部門、加工食品およびハム・ソーセージ部門とも売上高・利益が増加しました。この結果、売上高は2,825億75百万円(前期比10.1%増)、営業利益は38億50百万円(同95.5%増)、経常利益は46億63百万円(同76.6%増)となり、当期純利益は28億33百万円(同62.1%増)となりました。

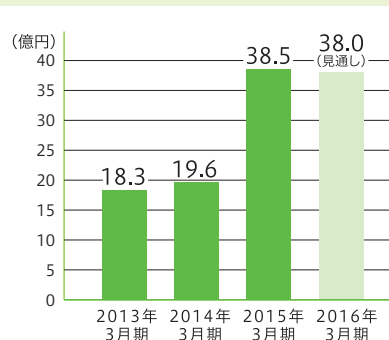
■ 次期(2016年3月期)の展望

日本では食料自給率が年々低下しており、環太平洋経済

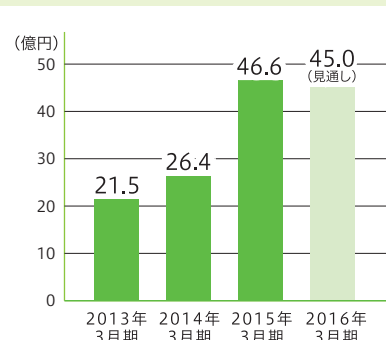
売上高(商品別)



営業利益



経常利益



連携協定(TPP)の進展状況によっては食肉生産量のさらなる減少も予測されます。一方、世界的には人口増加によって食肉需要の増大が見込まれています。

当社グループは変化するマーケットに対応するため、次期も“攻め”の経営を推進します。この一環として、国内では2015年4月に販売子会社を合併して体制強化を図っています(P.4ご参照)。魅力的な商品の開発やブランド化の推進、合併などによる生産事業の拡大も進めます。また、国内外の調達ネットワークをさらに強化するとともに、輸出事業の拡大をめざします。

併せて当社グループ全体におけるコーポレートガバナンス体制の整備・強化に継続的に取り組むとともに、食の安全・安心の基本となる国際規格「SQF」^{*}の認証取得をさらに進めてまいります。

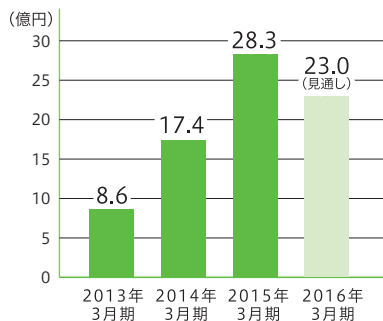
今後とも株主の皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

^{*}SQF(Safe Quality Food):食の安全を確保するHACCPと品質管理システムを組み合わせた国際規格。当社グループは53カ所で認証取得(2015年3月末時点)。

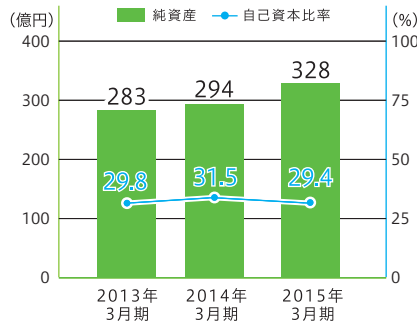


代表取締役社長 中津濱 健

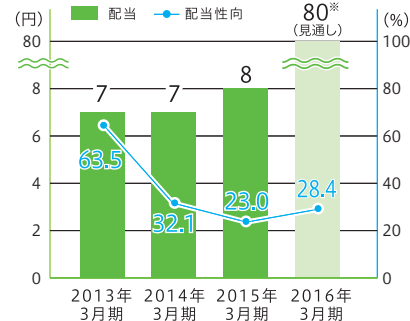
当期純利益



純資産・自己資本比率



配当・配当性向



^{*}2015年10月1日を効力発生日とする株式併合の影響を考慮して記載しています。従来と同様の条件において算出した場合の配当額は1株当たり8円となります。(詳細は裏表紙を参照)

2014

4月

Apr.

5月

May

6月

Jun.

7月

Jul.

8月

Aug.

9月

Sep.

10月

Oct.

11月

Nov.

12月

Dec.

2015

1月

Jan.

4/16

林兼産業(株)との
業務提携を開始



食料品の製造や販売などを手がける林兼産業(株)と業務提携基本合意書を締結しました。互いが持つ技術や設備、販売チャネルを活用することで、調達から商品の開発、販売まで、幅広い分野で発展を目指します。

6/16

EU3カ国へ向けて
和牛を輸出開始



6月16日、EU圏に向けた食肉輸出の第一便が出発しました。今回出荷されたのは、イギリス・フランス・ドイツ向けの「鹿児島和牛」。当社関連会社がEUの基準を満たす食肉処理施設として認定を受けたことで、業界に先駆けての輸出が可能となりました。

1/27-28

「総合展示会」で
お客様に商品を
アピール



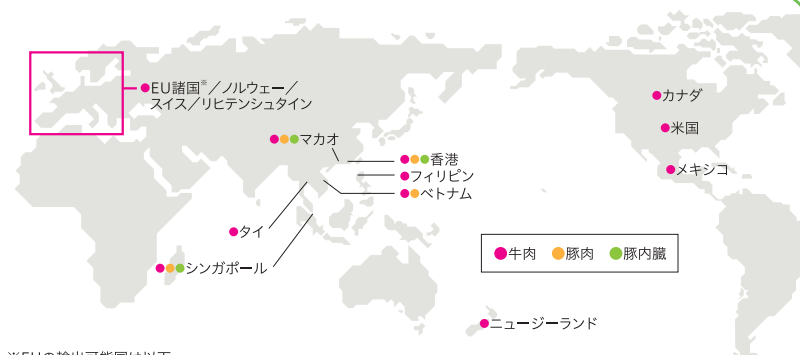
スターゼングループの多様な商品をお客様にご紹介する「スターゼングループ総合展示会」を開催しました。8回目となる今回は、新商品を含む300アイテムをご紹介します。試食なども実施し、2日間で900社、2,000名の方にお越しいただきました。

PICK UP
01

食肉輸出の拡大

需要拡大に対応し、輸出可能国を41カ国まで拡大！

スターゼングループは、世界的な食肉需要の増大を受け、新興国などへの牛肉をはじめとする食肉の輸出を積極的に推進しています。現地の法規制に対応した加工・輸送プロセスの採用などに取り組んできた結果、2015年3月現在でのべ41カ国への輸出が可能になりました。輸出量は前年度比で143%となりました。



※EUの輸出可能国は以下。

英国／フランス／オランダ／ベルギー／ドイツ／イタリア／ブルガリア／チェコ／デンマーク／エストニア／アイルランド／ギリシャ／スペイン／クロアチア／キプロス／ラトビア／リトアニア／ルクセンブルク／ハンガリー／マルタ／オーストリア／ポーランド／ポルトガル／ルーマニア／スロベニア／スロバキア／フィンランド／スウェーデン

2月 Feb. 3月 Mar. 4月 Apr.

2/10

林兼産業との 合併会社設立に向けた 検討を開始

2月10日の取締役会で、2014年4月に業務提携基本合意書を締結した林兼産業（株）と合併会社設立に向けた検討を開始することを決議しました。両社の強みを最大限に活かした、加工食品事業を主事業とする合併会社を設立することにより、変化の激しい食品事業における供給基盤の強化を図り、加工食品販売シェアの拡大に取り組んでいきます。

4/1

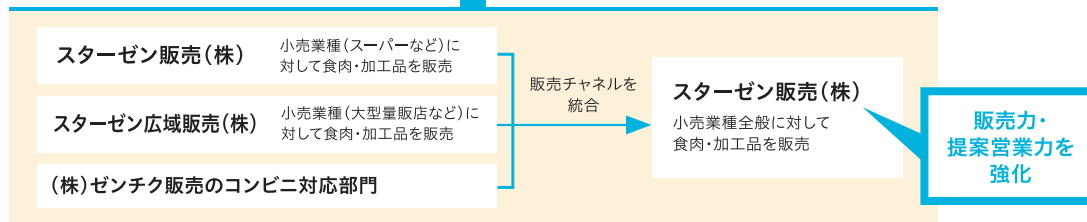
営業・販売体制の 効率化に向けて 販売子会社2社を合併

2015年4月1日付にて、当社子会社のスターゼン広域販売（株）をスターゼン販売（株）に吸収合併するとともに、同社に（株）ゼンチク販売のコンビニ対応部門を移管しました。3社の販売チャネルを統合・再編成することで、体制を効率化するとともに、販売力・提案営業力の強化を図っています。

4/1

コンプライアンス 体制強化に向けて 機構改組を実施

2015年4月1日付にて、スターゼン（株）の機構改組を実施しました。今回の改組では、監査体制の変更や子会社への営業機能の集約などを行い、リスク管理を含むガバナンス・コンプライアンスの強化と業務の効率化を図っています。

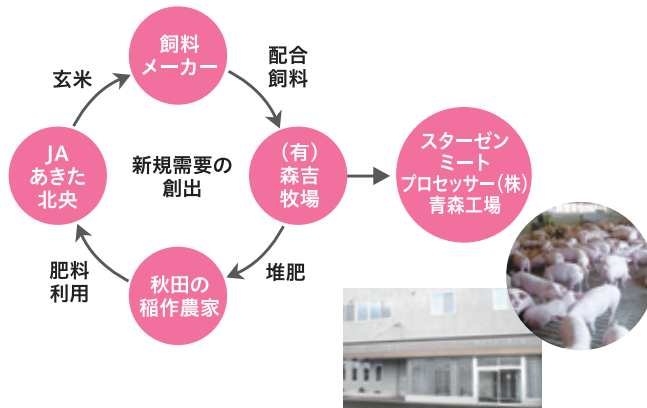


PICK UP
02

新製品の開発

地域の農業に貢献する新ブランド 「秋田純穂豚」を発売！

近年、食生活等の変化により水田が減少しています。わが国の原風景である水田を守るため、スターゼンは農家の飼料米生産を推進し、それを給餌した豚肉の新ブランド「秋田純穂豚」を発売しました。本ブランドの特徴は、秋田産飼料米を配合した飼料で秋田の豚を育て、畜産農場の堆肥を水田に利用する「循環型農業」を実現していること。地元の農協、農家、飼料メーカー、畜産農場と協力して、地域農業の活性化、地産地消の推進につながる試みです。今後は地域農業貢献と販売の拡大を図っていきます。



★ 株主優待のご案内 ★

日頃からご支援いただいている株主の皆様へ感謝の気持ちを込めて、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

1

自社グループ製品(3月のみ)

※写真は2014年3月期の実績

1,000株以上 ※1

ハム類詰合せ(3,000円相当)



10,000株以上 ※3

国産和牛ステーキ肉
(8,000円相当)



5,000株以上 ※2

ハム類詰合せ
(5,000円相当)

2

1,000株以上 ※1

歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を
通常販売価格の20%割引(送料無料)にてご案内

3

1,000株以上 ※1

「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)
20%割引(送料無料、9月のみ)にてご案内

※1~3 2015年10月1日の株式併合後は、それぞれ「100株以上」「500株以上」「1,000株以上」となります。同時に、本株式併合により各株主様の所有する株式数が10分の1となることから、お受け取りになれる優待品の内容には変更はございません。(株式併合についての詳細は裏表紙を参照ください)



当社ホームページのご案内

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナルのコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。

<http://www.starzen.co.jp>



トップページ



IR情報ページ

スターゼングループの商品は インターネットでご購入いただけます。

ローマイヤ 通販ショップ

<http://www.lohmeyer-shop.com/>

楽天市場

<http://www.rakuten.co.jp/starzen-k/>

ぐるなび 食市場

<http://shop.gnavi.co.jp/starzen/>



ローマイヤ通販ショップ

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 3月31日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 公告方法 電子公告 <http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku>

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

- 単元株式数 1,000株
(2015年3月31日現在)
- 株主名簿管理人 東京都中央区
八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

会社概要／株式の状況

会社概要

設立	1948年6月17日
本社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,200名(2015年3月31日現在)

組織図 (2015年4月1日現在)

事業持株会社 スターゼン株式会社

食肉の販売(国内)

●スターゼン販売(株) ●(株)ゼンチク販売

食肉、食肉加工品の輸出入

●スターゼンインターナショナル(株)

海外子会社

●ゼンチク・オーストラリア PTY.LTD ●スターゼン(アメリカ),INC.
●スターゼンヨーロッパ ApS ●スターゼンシンガポールPte. Ltd.

食肉の処理加工、食肉加工品・食品の製造販売

●スターゼンミートプロセッサー(株)

ハム・ソーセージ、加工食品などの製造販売

●ローマイヤ(株) ●(株)キング食品

生産・肥育

●(有)ホクサツえびのファーム ●(株)美保野パーク
●(株)雲仙有明ファーム

ロジスティクス・倉庫

●サンエフ(株) ●スターゼン東京物流センター(株)

製麺事業、システム開発、食品検査等

●その他各社

役員 (2015年3月31日現在)

代表取締役会長	鷗 橋 誠 一	執行役員	林 育 司
代表取締役社長	中津濱 健	執行役員	定 信 隆 壮
常務取締役	永 野 章	執行役員	矢 野 勉
常務取締役	中 井 俊 夫	執行役員	横 田 和 彦
取締役	寺 師 孝 一	執行役員	茂 原 馨
取締役(社外)	鈴 木 宏	執行役員	岸 博 之
取締役(社外)	太 田 泰 介		
取締役(社外)	善 宝 俊 文		
常勤監査役	片 山 学		
常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹		
監査役(社外)	杉 島 光 一		
監査役(社外)	吉 原 大 吉		

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株 主 数	17,824名

大株主の状況

名 称	所有株式数 (千株)	割合 (%)
株式会社三井住友銀行	3,249	3.98
農林中央金庫	3,044	3.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,799	3.43
スターゼン社員持株会	2,414	2.96
株式会社鷗橋興産	2,349	2.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,217	2.71
三井物産株式会社	2,216	2.71
クリアストリーム パンキング エス エー	2,100	2.57
クレディ スイス ルクセンブルグ エスエー オン ビハーフ オブ クライアンツ	1,775	2.17
株式会社みずほ銀行	1,603	1.96

注1)当社は2015年3月31日現在、自己株式6,219,367株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。

注2)持株比率は、発行済株式の総数から、自己株式数を控除して計算しています。

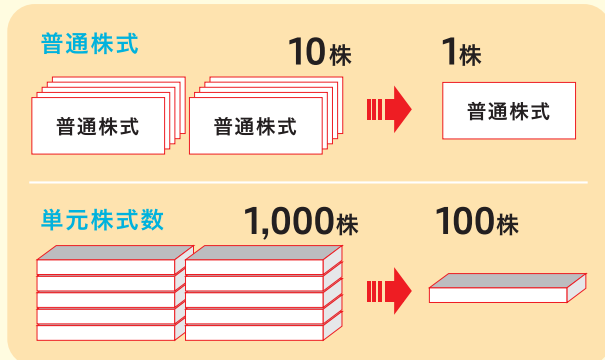
株式併合についてのご案内

当社は2015年10月1日をもって、

- 1 当社の普通株式10株を1株といたします。
- 2 単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

当社は第76回定時株主総会において、上記2点の内容を承認いただきました。
なお、株主様におかれましては、これに伴う特段のお手続きの必要はありません。

>> 株式併合のイメージ



>> スケジュール

- 9月25日(金) 現在の単元株式数(1,000株)での売買の最終日
- 9月28日(月) ◆当社株式の売買単位が1,000株から100株に変更
◆株価に株式併合の効果が反映
- 10月1日(木) 株式併合・単元株式数変更の効力が発生

本件に関するお問い合わせ先

本株式併合についてのご不明な点は、お取引の証券会社または株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

株式併合による影響

今回の株式併合により、以下の変化が生じますが、株主様が所持の当社株式の資産価値には変化はございません。(株式市況の変動などによる影響を除く)
また、株主様が所持の権利(議決権、配当※1、株主優待※2)につきましても変化はございません。

- 1) 発行済株式総数が10分の1に減少します。
- 2) 一方、1株当たり純資産額は10倍となります。

※1 配当についてはP.2も参照ください。 ※2 株主優待についてはP.5も参照ください。

1株未満の端数が生じる場合の処理

今回の株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合、会社法に基づいて以下のとおり処理します。

- 1) 全株主様の端数分を一括して処分します。
- 2) その処分代金を、端数が生じた株主様に対し、端数の割合に応じてお支払いします。

※このお支払い金額(端数株式処分代金)は、2015年11月下旬ごろにお送りする予定です。

みずほ信託銀行 証券代行部

TEL. 0120-288-324 (通話料無料)

受付時間 平日9:00~17:00

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
電話: 03-3471-5521

UD
FONT

